

表1. 2018/2019シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2019/12/27

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B				
	エンドヌクレアーゼ阻害薬						エンドヌクレアーゼ阻害薬						エンドヌクレアーゼ阻害薬				
	ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬				ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬				ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬		
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル
耐性株数 (%)	9 ^a (2.3%)	21 ^b (0.9%)	21 ^b (0.9%)	0	0	204 (100%)	34 ^c (8.0%)	0	0	0	0	157 (100%)	0	0	1 ^d (0.5%)	0	0
解析株数	395	2,252	2,252	373	373	204	424	357	357	357	357	157	44	193	193	193	193
分離・検出報告数	3,076						4,730						652				

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、I38T/F/K/M/R/S耐性変異をもっていた。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。

^a うち薬剤未投与例 3、薬剤投与例 6

^b うち薬剤未投与例 4、薬剤投与例 17

^c うち薬剤未投与例 5、薬剤投与例 29

^d うち薬剤未投与例 1